



2010年(平成22年) 7月4日(日)

# 太陽光発電パネル 設置角度が自在に

## 総合機器メーカー「ヤブシタ」

市内の一般家庭に初めて設置されたエア・ムーブ。最適な角度を設定することで、CIS太陽電池の性能を最大限に活用できる



## ■ 変換効率が大幅アップ ■ 家庭の屋根に設置OK

総合機器メーカー「ヤブシタ」(函館市豊川町、森忠裕社長)はこのほど、太陽光発電用パネルの設置角度をエア・コンプレッサーで調整できる可変式架台システム「エア・ムーブ」を開発した。季節に合わせて最適な角度に設定することで、発電効率の大幅アップが期待され、大きな注目を集めている。(小川俊之)

家庭の屋根用のパネル型太陽電池モジュールは、通常は、40度から45度程度に変化する角度が固定されるため、季節調節が可能な、最適な角度への調節が困難となる。道内では冬場に太陽電池モジュールが雪に埋もれてしまうことなどから、太陽光発電コンプレッサーでシンターの普及が遅れているが、エア・ムーブは冬場に傾斜角度を可動させ、設置角度を20度

を大きくすることで雪が降り落ち、その悩みも解消できるという。

このほど函館市内の一般家庭に初めてエア・ムーブが設置された。モジュール部分がソーラー・フロンテナ(東京製のCIS太陽電池が取り付けられた。CIS太陽電池は一般的なシリコン結晶に比べて太陽電池に比べてコストが抑えられ変換効率も高い。エア・ムーブとの組み合わせで、さらに高い変換効率が期待できるという。

ヤブシタ函館支店工務部の佐藤やじえ主任は「エア・ムーブは通常の架台に比べるとコスト高だが、耐久性に優れているので自信を持って勧められる。興味がある人は実際に設置場所を見学してほしい」と話している。

エア・ムーブとCIS太陽電池について問い合わせは函館市千歳町3、加藤組土建 ☎0138・23・7101まで。